

配偶者暴力相談支援事業

新規

予算額 958万6千円

副題：DV被害者への支援を拡充します

ポイント

配偶者による暴力の相談（DV相談）は、従前から支援業務として実施してきたところですが、平成30年度から新たにDV相談の専用ダイヤルを設置し、DV被害者に対する支援を拡充します。

事業概要

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」及び国の第4次男女共同参画基本計画を基本に策定した「第7期大田区男女共同参画推進プラン」に基づき、配偶者暴力相談支援を円滑に遂行するため、30年度中にDV被害者に対する支援事業を開始します。

1 DV専用ダイヤル開設（改修工事費含む） 816万5千円

専門知識を有する相談員による、電話での相談業務を実施します。

2 周知、啓発等 142万1千円

リーフレット、カード、冊子等を作成し、事業の周知及びDV防止の啓発等を図ります。



パープルリボン
(女性に対する暴力をなくす運動のシンボル)

問合せ先	担当部課	総務部	人権・男女平等推進課
	課長	元木	電話 5744-1686
	担当者	池上	電話 5744-1610

振り込め詐欺対策の拡充と青色回転灯車パトロールの強化

実計

重点

予算額 2,279万6千円

副題：子どもから高齢者まで安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組みます

ポイント

手口が巧妙化し、全国で被害が拡大している振り込め詐欺から高齢者を守るため、被害防止効果の高い自動通話録音機の貸与事業を促進します。

また、子どもたちの安全を守るため、青色回転灯車による通学路のパトロールを強化します。

事業概要

- 1 自動通話録音機の貸与事業等（振り込め詐欺対策）**
電話着信時に会話が録音される旨のメッセージが流れる自動通話録音機を3,000台購入し、区内の警察署と連携して必要な高齢者世帯に無料で貸与します。（平成29年度比で1,000台増）

また、防犯講座等において、高齢者やその家族に向けた振り込め詐欺防止策の啓発に取り組みます。

2,057万2千円



- 2 青色回転灯車による通学路パトロールの強化**
小学生が下校する時間帯（14時～18時）を中心に実施している青色回転灯車による通学路のパトロールを、現行の2台から4台に増車して強化します。さらに、不審者情報等が寄せられた地域への緊急パトロールの実施など、子どもたちの安全確保につなげます。

222万4千円



問合せ先

担当部課	総務部	防災危機管理課
課長	和田	電話 5744-1216
担当者	元木	電話 5744-1634

妊産婦避難所の設置

重点

予算額 171万4千円

副題：災害時に産前・産後の時期を安心して過ごせる避難所を確保します

ポイント

産後間もない母子等が助産師や保健師などの支援を受けられる生活の場として、発災後、早期に分娩医療機関の近隣に「妊産婦避難所」を設置します。

過去の教訓から、災害時の分娩医療体制や支援を具体化し、分娩医療機関との密な連携を図ることで、妊産婦と新生児の命を守ります。

事業概要

災害発生後、早期に産後間もない母子等が助産師や保健師などの支援を受けられる「妊産婦避難所」を設置します。

1 設置場所

区内、分娩医療機関の近隣に設置（合計3か所程度）

2 必要な物品等の配備

乳幼児用（粉ミルク等）、妊産婦用（産褥パッド等）、生活用（食糧、エアマット等）

3 妊産婦避難所の体験会の実施

平成29年度は、妊産婦や周産期医療関係者を交え、スペースづくり、非常食の試食、助産師等による妊産婦への支援、意見交換会を通じ、妊産婦避難所のイメージの共有と課題の抽出を行いました。今後も関係者、参加者と協力の上、具体化を図ります。

区が考える妊産婦避難所イメージ



問合せ先	担当部課	健康政策部	健康医療政策課
	課長	長沼	電話 5744-1730
	担当者	今井	電話 5744-1264

歯科医療救護所の充実

新規

重点

予算額 44万3千円

副題：災害時の歯科医療ニーズに応えます！

ポイント

災害時の歯科医療に必要な物品を配備し、歯科医療救護所の体制づくりを進めることで、被災者の歯科治療と口腔ケアの充実を図ります。

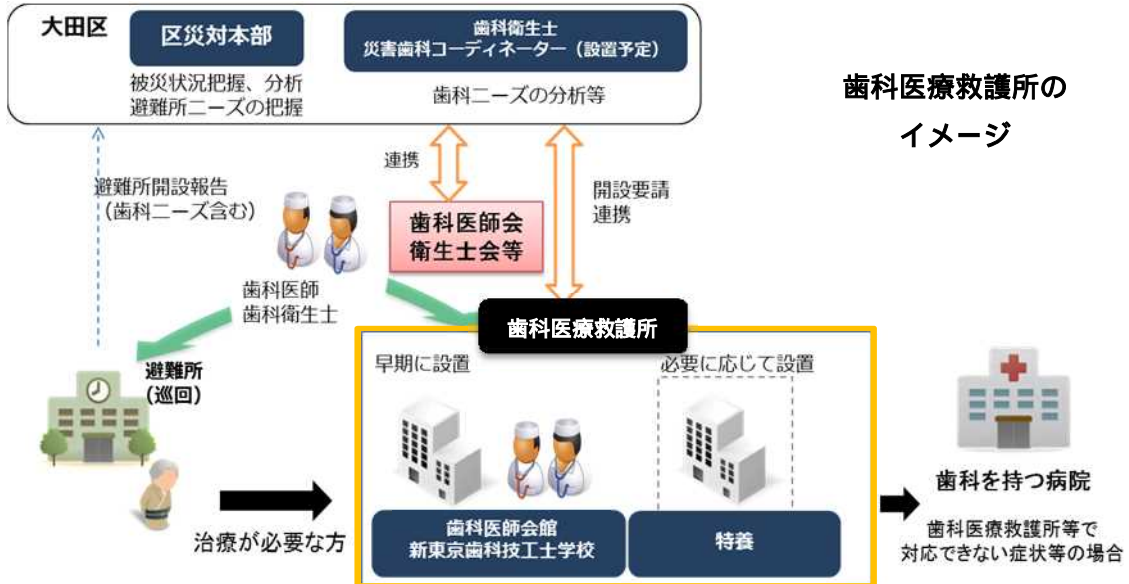
事業概要

1 歯科医療救護所の設置予定場所

歯科医師会館（大森、蒲田） 特別養護老人ホーム（6か所） 新東京歯科技工士学校・新東京歯科衛生士学校（予定）

2 必要な物品等の配備

往診用デンタルキット、手袋、歯ブラシ、精製水、水、ヘッドライト等



問合せ先

担当部課	健康政策部	健康医療政策課
課長	長沼	電話 5744-1730
担当者	今井	電話 5744-1264

車輪付き担架の配備の充実

重点

予算額 2,527万2千円

副題：大田区のものがづくりが、傷病者搬送をサポートします！

ポイント

区民の意見を踏まえて区内中小企業と開発した、車輪付き担架を各地区に配備します。

大規模災害時には、多数発生する傷病者を自助・共助で救護所まで搬送してもらう必要があります。従来の担架では困難であった長距離搬送を可能とすることで、地域の傷病者搬送体制の実効性を高めます。

事業概要

1 自治会・町会への配備 2,527万2千円

- ・区内12地区の自治会・町会へ各1台配備
(平成29年度は6地区へ先行配備済)
- ・区内全域で、地域から救護所までの傷病者搬送体制を構築します。

2 全区展開に併せて、愛称募集

- ・区民の皆様が関心を持ち、親しんで使っていただけるよう愛称を募集します。



4輪&ノーパンクタイヤ装備

ブレーキ&ストッパー装備

移乗&ハンドルの高さがちょうど良い

折りたたみ式(台車)でコンパクト

汎用性が高く、他の担架もセット可能



問合せ先

担当部課 健康政策部 健康医療政策課

課長 長沼 電話 5744-1730

担当者 今井 電話 5744-1264

燃えない、倒れないまちづくりの推進

実計

重点

予算額 11億 1,758万 1千円

副題：老朽建築物の建替えや耐震化を促進し、
安心して暮らせるまちを実現します

ポイント

安全で安心して暮らせるまちを目指し、木造密集市街地における不燃化まちづくり助成事業をはじめ、羽田地区の重点整備路線整備などにより、燃えないまちづくりを推進していきます。また、災害時の緊急車両の通行や円滑な避難の実現のため特に重要となる特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を図ることで、倒れないまちづくりを推進していきます。

事業概要

1 燃えないまちづくり

4億 479万 3千円

(1) 住宅市街地総合整備事業の推進

ア 羽田地区防災まちづくり

木造住宅が密集し、延焼危険性の高い羽田地区内で、災害に強いまちづくりを進めるため密集市街地整備に実績のある東京都都市づくり公社及びUR都市機構と連携し、避難路となる道路の拡幅整備等を推進します。

イ 建設資金融資利子補給

平成2～13年度にかけて西蒲田・蒲田、大森・北糀谷、蒲田二・三丁目、矢口・下丸子の各地区で行った老朽建築物の建替えのうち、建設資金の一部融資あっせんを行った分を対象に、最長20年間の利子補給を行っています。



羽田地区 事業区域図

(2) 都市防災不燃化促進事業

区は、23年10月から大森中・糀谷・蒲田地区防災街区整備地区計画(約197ヘクタール)を施行しました。この地区計画で指定した地区防災道路沿道の建築物が延焼遮断帯となるように、耐火または準耐火建築物に建替える際の費用等の一部を助成します。また、羽田地区においても防災街区整備地区計画の導入を検討しており、地区計画に合わせて、主要な防災道路であるバス通り沿道等を対象に都市防災不燃化促進事業の導入を目指します。

(3) 木密地域不燃化10年プロジェクトを活用した取り組み

東京都の「木密地域不燃化10年プロジェクト」の不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)の指定を受けた地区において、地域全体の不燃化を進めるため、不燃領域率70%を目標に不燃化に向けた助成事業等を実施します。

2 倒れないまちづくり(耐震診断・改修助成) 7億1,278万8千円

(1) 特定緊急輸送道路沿道建築物への耐震化助成

災害時において円滑な避難や緊急物資の輸送路を確保することを目的に、特定緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化率を東京2020大会までに90%とするため、29年度に助成制度を拡大しました。戸別訪問等により、この制度拡充を広く周知し耐震化へ向けて積極的に制度利用を働きかけていきます。

大田区内の特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断は全て完了しており、次のステップとなる耐震改修設計に取り組んでいきます。

(2) 木造住宅等への助成

旧耐震基準で建てられた建築物に対して助成制度を設け、診断・設計・改修費用の一部を助成しています。木造住宅の所有者に対しては、制度案内とアンケートを行い、希望者に戸別訪問をするなどし、耐震化を推進するために積極的な啓発活動の取組みを進めます。



建物が倒壊し、通行が危険な様子
写真提供：神戸市

問合せ先	担当部課	まちづくり推進部 防災まちづくり課		
	課長	瀬戸	電話	5744-1455
	担当者	上記1 有川	電話	5744-1338
		上記2 清水	電話	5744-1349

橋梁の耐震整備及び長寿命化修繕

実計

重点

予算額 10 億 7,701 万 1 千円

副題：災害に強く、安全・安心な橋梁を構築します

ポイント

区が管理する橋梁の中で、災害時輸送路の要となる緊急道路障害物除去路線や鉄道を跨ぐ橋梁等、防災上重要となる橋梁について、計画的に架替や耐震補強整備を行い災害に強いまちづくりを推進します。

また、既設橋梁を良好な状態に維持していくため、健全度を維持しながら長寿命化を図る予防保全型の維持管理を推進し、道路交通の安全性を確保するとともにライフサイクルコストの縮減を図っていきます。

事業概要

1 橋梁の架替整備：3 橋

1 億 6,745 万 4 千円

老朽化に伴う橋梁の架替整備を実施し、この更新に合わせて所要の耐震性能を確保します。

(1) 架替工事：1 橋

・諏訪橋（大森西 2-25～3-4、昭和 4 年供用、橋長 12.7m）

(2) 架替工事設計委託：2 橋

・三ツ木橋（大森西 1-18～4-2、昭和 6 年供用、橋長 13.0m）

・貳之橋（大森西 2-26～3-5、昭和 6 年供用、橋長 13.2m）



本村橋(平成 28 年度耐震補強完了)

2 橋梁の耐震補強整備：9 橋

6 億 430 万 9 千円

大規模地震の際に、橋梁の損傷を限定的なものにとどめ、速やかに機能回復が行えるように耐震補強整備を行います。

(1) 耐震補強工事：5 橋

・西三跨線人道橋（中馬込 3-8～西馬込 1-25、昭和 39 年供用、橋長 24.7m）

・第二中谷跨線人道橋（上池台 5-30～仲池上 1-2、昭和 38 年供用、橋長 25.1m）

・富士見橋（上池台 5-28～仲池上 1-1、昭和 39 年供用、橋長 21.1m）

・芹ヶ谷橋（仲池上 1-33～久が原 1-2、昭和 45 年供用、橋長 10.4m）

・天空橋（羽田 5-14～羽田空港 1-1、平成 5 年供用、橋長 73.9m）

(2) 耐震補強・補修設計委託：4 橋

- ・久根橋 (仲池上 1-27 ~ 久が原 2-2、昭和 43 年供用、橋長 13.3m)
- ・長栄橋 (仲池上 2-28 ~ 久が原 2-22、昭和 43 年供用、橋長 12.5m)
- ・旭橋 (大森南 2-25 ~ 東糺谷 6-1、昭和 41 年供用、橋長 28.5m)
- ・末広橋 (大森南 2-19 ~ 東糺谷 1-6、昭和 47 年供用、橋長 29.1m)

3 橋梁の長寿命化修繕：24 橋

3 億 524 万 8 千円

老朽化等に伴う損傷に対して適切な維持修繕を行い、既設橋梁を良好な状態に保ちます。

(1) 補修工事：2 橋

- ・鶴林橋 (池上 2-21 ~ 3-11、昭和 41 年供用、橋長 13.8m)
- ・妙見橋 (池上 1-33 ~ 4-10、昭和 57 年供用、橋長 12.2m)

(2) 補修設計委託：3 橋

- ・五之橋 (大森西 2-21 ~ 3-2、昭和 32 年供用、橋長 12.8m)
- ・五之橋添架人道橋 (大森西 2-22 ~ 3-2、昭和 50 年供用、橋長 12.3m)
- ・大森北六歩道橋 (大森北 5-10 ~ 6-23、昭和 44 年供用、橋長 21.6m)

(3) 定期点検：19 橋

・ J R 線跨線橋：11 橋

新根方橋、稲荷橋、東原橋、美富士橋、八橋、薬師跨線人道橋、
宮前跨線人道橋、山王道跨線人道橋、外川田跨線人道橋、仲町跨線人道橋、
町屋跨線人道橋

・ 東急線跨線橋：8 橋

雪見橋、月見橋、花見橋、笹丸橋、永久橋、北千束二の橋、清水窪歩道橋、
北千束歩道橋

問合先	担当部課	都市基盤整備部 建設工事課	
	課長	鈴木	電話 6436-8721
	担当者	齊藤	電話 6436-8725

自治会・町会支援の充実

新規

重点

予算額 37万1千円

副題：自治会・町会の課題解決に積極的支援を行います

ポイント

「人材の確保」、「財政基盤の強化」、「事業の効率化」といった自治会・町会の課題に対し、「あり方検討会（ ）」への外部委員の参画や加入促進チラシの作成・配布など、課題解決に向けた活動を積極的に支援し、地域力を推進します。

「あり方検討会」は、自治会・町会の現状や組織・運営面等の様々な課題に対して、今後の方向性を多角的に検討するため、大田区自治会連合会に平成24年設置されました。

事業概要

- | | | |
|---|--|--------|
| 1 | 自治会・町会の課題解決に向けたあり方検討会の充実 | 4万8千円 |
| | 「あり方検討会」の討議が充実するよう、新たに外部委員からのアドバイスを受け、検討を促進します。 | |
| 2 | 自治会・町会加入申込書付き加入促進チラシの作成 | 32万3千円 |
| | 加入申込書付き加入促進チラシを作成し、転入時に区役所や特別出張所の窓口で配付します。 | |
| | 加入申込書を料金受取人払い（大田区）とすることで、提出先が区であることの安心を感じられるうえ、気軽に加入手続きができるようにして、自治会・町会への加入を促進します。 | |

問合せ先	担当部課	地域力推進部	地域力推進課
	課長	小泉	電話 5744-1221
	担当者	中川	電話 5744-1224

新井宿地区の魅力発信事業

新規

重点

予算額 194万円

副題：まち歩き講座&ワークショップの開催・まち歩きマップの作成

ポイント

「まち歩き講座」と「ワークショップ」を開催し、多くの人に新井宿地区の魅力を体験していただくとともに、地域の魅力を発信する「まち歩きマップ」を作成します。自分が暮らすまちに対する住民の愛着と誇りを高め、町会をはじめとする地域活動への参画機運を高めることにより、新井宿地区の地域ブランド価値の向上を図ります。

事業概要

新井宿地区の歴史・文化・伝統・人材・公共施設など、地域資源を最大限活かした事業を展開し、地域の魅力を引き出すため、以下の内容を実施します。

1 「新井宿まち歩き講座」&「ワークショップ」の実施 95万7千円

新井宿のまちの魅力を発見・再認識するため、一般参加者と新井宿地区の自治会・町会の方々等と一緒にまち歩きを行います。まち歩きで新たに発見したまちの魅力などを「新井宿まち歩きマップ」に反映させます。

新井宿の歴史・文化・伝統・地域特性を活かし、地域の魅力を体験できるワークショップを実施します。



2 「新井宿まち歩きマップ」の作成 98万3千円

新井宿で暮らす人々がより一層地域に愛着を覚え、新井宿以外で暮らす人たちが新井宿を訪れ、散策してみたいくなるような魅力あふれるマップを作成し、観光情報コーナー等で配布します。



問合せ先	担当部課	地域力推進部	新井宿特別出張所
	所長	岡本	電話 3776-5391
	担当者	北村	電話 3776-5391

生涯学習・区民協働センター機能の拡充

新規

重点

予算額 65万1千円

副題：生涯学習の成果を活かした地域活動の担い手づくりの拠点整備

ポイント

「区民活動支援施設蒲田（mics おおた）」は、区民活動団体やNPOなどの連携・協働を総合的に支援しています。mics おおたに生涯学習相談や情報発信、活動拠点として区民の充実した生涯学習支援を進める生涯学習・区民協働センター機能を拡充します。

事業概要

1 生涯学習・区民協働センター機能の拡充

消費者生活センター2階に、生涯学習に関するイベント情報や団体活動情報などを発信するスペースを新たに設置します。パンフレットや会議資料等の作成や、打ち合わせのスペースとして利用できる活動拠点機能を拡充します。



2 学びの成果を地域活動に活かす地域づくり

生涯に渡る充実した学習機会を区民に提供し、生涯学習・区民協働・地域団体の連携による新たな地域の仕組みにより、生きがいをもって暮らせる地域づくり、仲間づくりとネットワークの拡大による地域力の向上を推進します。



問合せ先	担当部課	地域力推進部	地域力推進課
	課長	武藤	電話 5744 - 1225
	担当者	深谷	電話 5744 - 1443

羽田地区公共施設の整備

新規

実計

重点

予算額 24億4,348万5千円

副題：今注目の羽田地区における複合施設計画、いよいよ竣工

ポイント

機能強化に関する検討が進んでいる羽田空港や新たな開発がスタートした空港跡地第1ゾーンを有する羽田地区において、複数の公共施設工事が竣工します。複合化及び多目的化などにより、新たな行政ニーズに沿ったサービスを提供します。

事業概要

羽田地区にある二つの建物、六つの機能について、変化・多様化していく区民ニーズへの確に対応できる施設として開設します。

(1) 施設計画概要

【一丁目プロジェクト】(羽田一丁目18番13号)

地域拠点整備(地域防災機能の強化)、文化・地域活動促進、高齢者支援、社会教育活動支援

- ア 羽田特別出張所、(仮称)観光国際地域情報コーナー
- イ 羽田文化センター(体育室は四丁目プロジェクトで整備)
- ウ 高齢者の元気維持、総合相談等を一体的に行う高齢者利用施設
- エ 中高生の居場所(交流・活動・相談支援)



【一丁目プロジェクト】(イメージ図)

【四丁目プロジェクト】(羽田四丁目 11 番 1 号)

保育環境の充実、不登校対策、(文化・地域活動促進)

オ 羽田保育園(利用定員の拡充)、子育て支援スペース(詳しくは 30 ページ)

カ 適応指導教室「つばさ」羽田教室

(長期間欠席している児童・生徒への学校復帰支援)

「イ 羽田文化センター」の体育室を含む



【四丁目プロジェクト【イメージ図】

(2) スケジュール概要(予定)

平成 30 年 10 月 竣工

平成 30 年 11 月 開設

問合せ先	担当部課	上記(1)ア	イ	地域力推進部	羽田特別出張所
		上記(1)ウ		福祉部	高齢福祉課
		上記(1)エ	オ	こども家庭部	子育て支援課
		上記(1)カ		教育総務部	教育センター
	所長	上記(1)ア	イ	吉澤	電話 3742-1411
	課長	上記(1)ウ		堀	電話 5744-1255
	副参事	上記(1)エ		曽根	電話 5744-1731
	課長	上記(1)オ		浜口	電話 5744-1271
	所長	上記(1)カ		柿本	電話 3752-2212
	担当者	上記(1)ア	イ	松島	電話 3742-1411
	上記(1)ウ		降旗	電話 5744-1250	
	上記(1)エ		高橋	電話 5744-1273	
	上記(1)オ		高橋	電話 5744-1642	
	上記(1)カ		大島	電話 5748-0801	

田園調布地区公共施設の整備

新規

実計

重点

予算額 5 億 9,270 万 2 千円

副題：田園調布地区待望のランドマーク建設が進行中

ポイント

水とみどりあふれる公園として親しまれている田園調布せせらぎ公園に文化・芸術・スポーツなどの区民活動の場、区民の憩いの場として多くの人々が集う施設「(仮称)大田区田園調布せせらぎ公園文化施設」を整備します。施設の整備にあたっては、周辺施設を含めた施設の有効活用と複合化の視点を踏まえ、田園調布富士見会館を含む多摩川駅前エリアに行政サービス機能と文化等の施設機能を集約し、区民生活の利便性向上や交流の活性化を図ります。

事業概要

1 整備に対する考え方及びスケジュール

(1) (仮称)大田区田園調布せせらぎ公園文化施設の整備

5 億 8,230 万 2 千円

- ・自然の情景や豊富な湧き水を活かし、崖線(がけ地)の景観に配慮します。
- ・現田園調布せせらぎ公園休憩所及び田園調布富士見会館の集会室機能を集約します。
- ・図書の出借窓口や読書スペース及び飲食や会話ができるスペースを設けます。
- ・文化活動及びスポーツ・運動等のできる多目的室を設けます。
- ・災害時の補完避難所や防災倉庫、屋外避難が可能なスペース等、地域の防災拠点としての機能を設けます。
- ・運動施設は、平成 33 年度以降の完成を予定しています。

【文化施設建設予定】

平成 30～32 年度 実施設計・新築工事
平成 32 年度～ 施設運営開始

(2) 田園調布特別出張所の移転

1,040 万円

(仮称)大田区田園調布せせらぎ公園文化施設を整備後、田園調布富士見会館の大規模改修を行い、田園調布特別出張所及び地域包括支援センター田園調布を移転します。

【今後の予定】

平成 30～31 年度 基本計画、実施設計
 平成 32 年度 改修工事
 平成 33 年度～ 施設運営開始

2 配置図



問合せ先	担当部課	地域力推進部	田園調布特別出張所
	所長	藤倉	電話 3721-4261
	担当者	雲藤	電話 3721-4261

蒲田西地区公共施設の整備

新規

実計

重点

予算額 6,591万7千円

副題：蒲田西地区整備計画を推進します

ポイント

蒲田西特別出張所は、建築後 50 年以上が経過し、老朽化が進んでいます。
大田区公共施設等総合管理計画に基づき、効果的・効率的な施設マネジメントによる区民サービスの維持・向上を実現していきます。
東京都と連携し、蒲田西特別出張所・地域包括支援センター等と大田都税事務所からなる都区合同庁舎の建設を、現大田都税事務所用地に進めていきます。

事業概要

1 蒲田西特別出張所

予定 平成 30～31 年度 基本計画・長寿命化大規模改修工事实施設計
平成 31～32 年度 長寿命化大規模改修工事
平成 33～36 年度 蒲田西特別出張所（仮庁舎）として使用

2 大田都税事務所

予定 平成 30～33 年度 大田都税事務所 1 階へ蒲田西特別出張所仮移転
平成 30 年度～ 基本設計・実施設計（東京都）
解体工事・建設工事（東京都）
平成 36 年度 都区合同庁舎運営開始

3 新庁舎概要（都区合同庁舎）

所在地 大田区西蒲田七丁目 11 番 1 号
新庁舎 地上 7 階地下 1 階建（予定）
（区）蒲田西特別出張所・地域包括支援センター等
（都）大田都税事務所

問合せ先	担当部課	地域力推進部	蒲田西特別出張所
	所長	荒浪	電話 3732-4785
	担当者	小松	電話 3732-4785

移動等円滑化の推進

予算額 3億8,409万1千円

副題：大森駅東口エスカレーター更新工事

ポイント

大田区では、バリアフリー法に基づく基本構想である「大田区移動等円滑化推進計画（大森駅周辺地区）」を平成25年3月に策定し、大森駅周辺地区の移動等円滑化を推進してきました。大森駅を中心としたエリアの移動等円滑化を一層推進するため、駅東口のエスカレーターを上り専用から、上り下り1人用にリニューアルして利便性の向上を図るため更新工事を行います。

事業概要

大森駅東口エスカレーターは大森駅東西の連絡用としても利用されていますが、大森駅を中心としたエリアの移動等円滑化を一層推進するため更新工事を行います。更新については上り専用（1 2階、2 3階 計2台）から、上り下り1人用（1 2階、2 1階、2 3階、3 2階 計4台）にリニューアルし、利便性の向上を図ります。早期竣工を目指し関係事業者と協定を締結し工事を行います。

また、大森駅東口のバリアフリールートの確保に向けた既存エレベーターの活用について関係者と調整を行っており、早期実現を目指します。



1 2階既存エスカレーター



2 3階既存エスカレーター

問合先	担当部課	都市基盤整備部 建設工事課 まちづくり推進部 都市計画課
	課長	鈴木 電話 6436-8721（基盤工事担当） 河原田 電話 5744-1663（まちづくり計画調整担当）
	担当者	田山 電話 6436-8727 神喰 電話 5744-1332

池上駅改築支援及び池上地区のまちづくり

実計

重点

予算額 2 億 6,228 万円

副題：池上駅の改築を支援するとともに、池上図書館を池上駅ビルに移転し、池上地区の魅力あるまちづくりに取り組みます

ポイント

大田区は、平成 32 年度完成予定の東急電鉄が進めている池上駅の駅舎改築及び駅ビル建築計画を支援します。駅ビルには、公共公益施設として池上図書館が移転する予定です。また、池上駅周辺地区においては、都市基盤施設の整備の検討を行い、魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

事業概要

1 鉄道駅総合改善事業

本事業は鉄道利用者の利便性や安全性の向上を図るとともに、地域社会にとっての新たな生活拠点をつくるため、鉄道駅総合改善事業補助金を活用します。鉄道事業者が行う駅舎の橋上化や図書館、保育園などを併設した多機能な駅ビルの開発事業を区が補助するものです。

本事業は 32 年度の完成を目指して 29 年度から開始し、本年で 2 年目となります。



駅イメージパース（出典：東急電鉄株）

2 池上図書館の移転

駅ビルに池上図書館を移転し、駅直上ライブラリーとして整備します。利用者の利便性と、図書館の魅力の向上を図ります。

駅ビルの完成に合わせて、32 年度に移転・開館を目指します。

3 池上駅及び池上本門寺周辺地区のまちづくり

池上駅及び池上本門寺周辺地区においては、安全で快適な歩行者空間の創出を実現するため、都市基盤施設の整備について検討を進めます。また、地域住民等と意見交換しながら、魅力あるまちづくりに取り組みます。

問合せ先	担当部課	上記1	まちづくり推進部	都市計画課
		上記2	教育総務部	大田図書館
		上記3	まちづくり推進部	都市開発課
	課長	上記1	山田	電話 5744-1691 (公共交通企画担当)
	館長	上記2	山中	電話 3758-3471
	課長	上記3	近江	電話 5744-1454 (地域整備担当)
	担当者	上記1	大見	電話 5744-1303
		上記2	松尾	電話 3758-3471
		上記3	山田	電話 5744-1339

蒲田駅周辺地区の整備

実計

重点

予算額 1億5,202万7千円

副題：蒲田駅前空間の再生整備 ～蒲田駅周辺再編プロジェクト～

ポイント

区を中心拠点である蒲田駅周辺地区については、平成25年度に策定した「蒲田駅周辺再編プロジェクト」を具体化するために、初動期では蒲田駅東口駅前広場や東口地下自転車駐車場の整備を進めています。

また、交通広場機能と歩行者環境の更なる向上を目指した中長期整備の検討を行うとともに、駅周辺街区の建替えを支援し、「人が集い・にぎわう、国際都市おおたの交通結節拠点・蒲田」のまちづくりを推進します。

事業概要

1 蒲田駅周辺再編プロジェクト推進業務

蒲田駅周辺の一体的なまちづくりに向けて、初動期における東口駅前広場の基本デザインプランや東口・西口の中長期整備に向けた検討を行います。

また、駅前街区の共同建替えに向けた地権者組織の活動について支援します。



まちの将来イメージ
(おおた都市づくりビジョンより)

2 蒲田駅東口駅前広場の再生整備（設計）

駅前広場の予備設計や地下自転車駐車場の詳細設計を行います。



地下自転車駐車場イメージ

問合せ先

担当部課	上記1	まちづくり推進部	都市開発課
	上記2	都市基盤整備部	建設工事課
副参事	上記1	三本木	電話 5744-1714 (地域整備担当)
課長	上記2	榊原	電話 6436-8720
担当者	上記1	伊部	電話 5744-1339
	上記2	藤木	電話 6436-8728

大森駅周辺地区の整備

実計

重点

予算額 6,934 万 6 千円

副題：中心拠点にふさわしい大森のまちづくりを推進します

ポイント

大森駅周辺地区では、池上通り（補助 28 号線）を始めとする都市基盤施設整備や沿道まちづくりを推進します。また、東口駅前広場の歩行者空間整備や中長期を見据えた再編整備の検討を実施します。

事業概要

1 駅西側都市基盤施設整備に係る都市計画決定手続きと沿道まちづくり活動支援

池上通り（補助 28 号線）の整備と合わせた（仮称）大森駅西口広場の都市計画決定手続きを行います。また、地権者組織による大森八景坂地区まちづくり計画案及びデザインコードに基づくまちづくり活動を引き続き支援します。



大森駅西口駅前



大森八景坂地区まちづくり計画案・デザインコード

2 まちづくり用地等の維持管理

大森まちづくり推進施設の暫定活用にあたり、施設の適切な維持管理を実施します。

3 大森駅東口駅前広場等再整備構想の検討

臨海部や羽田空港への交通の起点としての機能充実を図るため、駅前広場の再整備を含む公共施設の再編構想を検討します。また、ゆとりある歩行者空間を目指して既存施設の改修（暫定整備）に向けた設計を行います。

問合先	担当部課	まちづくり推進部 都市開発課		
	課長	大木	電話	5744-1341
	担当者	岡田	電話	5744-1339

公園の整備

新規

実計

重点

予算額 4,754 万円

副題：大田区の魅力を発信する公園づくりを進めます

ポイント

潤いとやすらぎのあふれる国際都市を目指して、区民はもとより大田区を訪れる多くの来訪者に大田区の魅力を発信できるような、四季折々の自然のうつろいを感じ、地域の歴史や文化に触れられる、魅力ある公園づくりを進めます。

事業概要

1 池上梅園の整備

(1) 池上梅園改良工事その4

平成29年度は、周辺道路と元駐車場部分の景観整備を実施しています。30年度は、第二京浜国道方向からの来園者の歩道と自転車で来園する方の駐輪スペースの整備をし、高齢者や障がい者、外国からの観光客など誰もが快適に過ごせる、魅力あふれる和の観光拠点施設にしていきます。



池上梅園

(2) 池上梅園施設整備工事（木道改修・ライトアップ）

池上梅園観梅期(2月から3月)に、夜間も満開の梅を楽しんでいただけるように、公園内のライトアップ工事を実施します。また、木道改修整備も行い、区内有数の観光地「池上梅園」の更なる魅力向上を図ります。



池上梅園ライトアップ（イメージ）

2 洗足池公園の整備

(1) 洗足池水環境改善基礎調査その2(生物調査)

洗足池の多様な水辺環境と生態系を守っていくための調査を実施します。

29年度は水の流入・流出量の調査を行いました。30年度は、池及び池周辺部の生物調査(魚類・底生動物・両生爬虫類、昆虫類、鳥類など)を実施し、今後の具体的な水環境改善の事業化を見据えた調査・検討に引き続き取り組みます。



洗足池公園

(2) 洗足池公園休憩所整備工事

洗足池公園内にある旧管理事務所棟の一部を改修し、公園利用者などが自由に利用できる無料休憩所として開放します。

休憩所の前面には洗足池を望む開放的なテラスを設置する予定です。木々に囲まれた落ち着いた場所にたたずむ休憩所に、ユニバーサルデザインに配慮した新たなスロープを整備するなど、誰もが利用しやすい休憩所を目指して整備します。



洗足池公園休憩所(整備イメージ)

問合せ先	担当部課	上記1(1)	都市基盤整備部	建設工事課
		上記1(2)	都市基盤整備部	地域基盤整備第一課
		上記2(1)	都市基盤整備部	都市基盤管理課
		上記2(2)	都市基盤整備部	地域基盤整備第一課
	(調布地域基盤整備事務所)			
	副参事	上記1(1)	石井	電話 6436-8722(土木工事担当)
	課長	上記1(2)	武藤	電話 5764-0626
	課長	上記2(1)	明立	電話 5744-1689
	副参事	上記2(2)	岩澤	電話 3726-4319(調布地域基盤整備担当)
	担当者	上記1(1)	志村・吉川	電話 6436-8726(建設工事課)
	上記1(2)	森下	電話 5764-0643(地域基盤整備第一課)	
	上記2(1)	大橋	電話 5744-1304(都市基盤管理課)	
	上記2(2)	飛松	電話 3726-4320	
(地域基盤整備第一課調布地域基盤整備事務所)				

拠点公園における公民連携推進

新規

実計

重点

予算額 1,703 万 2 千円

副題：拠点公園のさらなる魅力アップを目指します

ポイント

公園利用者にとってより魅力的で特色ある拠点公園づくりを進めるため、公民連携による民間活力の導入による、効果的、効率的で一元的な施設の維持、更新、管理、運営体制の構築を目的とした、調査・検討を進めます。

事業概要

拠点公園における公民連携推進基礎調査委託
面積 1ha を超える区内の拠点公園において、公民連携推進に向けた調査・検討を進めます。

< 調査概要 >

- ・ 拠点公園の現状把握・調査・分析
- ・ 利活用方策及び施設整備管理運営指針の検討
- ・ 公民連携手法導入に向けた検討



田園調布せせらぎ公園



洗足池公園

問合せ先	担当部課	都市基盤整備部 都市基盤管理課		
	課長	明立	電話	5744-1689
	担当者	大橋	電話	5744-1304

クールスポットネットワークの整備

新規

重点

予算額 702 万円

副題：蒲田のまちの魅力をつなぎ、まちの回遊性を高めます！

ポイント

JR 蒲田駅から京急蒲田駅を中心に、まちの魅力を発掘し、回遊性を高めるためにまち歩きルートネットワークを進めるとともに、広場や公園などのオープンスペースを活用したクールスポット（まち歩きの休息の場）を整備します。

クールスポットは、四季折々の魅力を創出するとともに、夏場でも快適に過ごせる場所で、「蒲田」のまちのイメージアップに貢献します。

事業概要

1 あやめ橋周辺広場整備設計

呑川沿いにある、あやめ橋際公衆便所周辺の緑地帯を活用して、蒲田の地名に由来する「あやめ（花菖蒲）」の植栽や、川風を感じられるクールスポットの整備を検討します。



完成イメージ

2 本蒲田公園整備設計

大田区民ホール「アプリコ」やアロマスクエアの隣に位置する本蒲田公園の中で、四季折々の花に囲まれた新たな涼み処ともなるクールスポット整備を検討します。



完成イメージ

問合せ先

担当部課	都市基盤整備部 地域基盤整備第二課		
課長	大田	電話	5713-2005
担当者	中林	電話	5713-2007
	神保	電話	5713-1118

道路の改良事業

重点

予算額 3億741万9千円

副題：きれいな街並みと災害に強い道路を整備します

ポイント

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、大田スタジアム北側にホッケー競技会場の設置が予定され、会場周辺には、国内外から多くの方の来訪が想定されます。また、産業道路から弁天橋までの羽田バス通りは、空港に隣接した区の玄関口であり、防災上も重要な道路です。良好な都市景観の創出と都市防災機能の強化を図るため、無電柱化による道路改良事業を進めていきます。

事業概要

1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場周辺道路の無電柱化等

(1) 無電柱化

東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業として取り組んできた電線共同溝の整備工事が完了したため、平成30年度は会場周辺の歩道に遮熱性や透水性の機能を備えた舗装材を用いて、夏場でも人にやさしい歩行空間の整備に着手します。

(2) 自転車推奨ルートの整備

国や都と連携しながら大田区道におけるオリンピック・パラリンピック競技会場周辺の自転車推奨ルートの整備を推進します。



大井ふ頭中央海浜公園西側歩道



臨海斎場前歩道

2 羽田地区バス通りの無電柱化

産業道路から弁天橋までの羽田バス通りは、「防災都市づくり推進計画」において、防災生活道路に位置付けられています。また、空港に隣接した区の玄関口としても重要な道路となっています。災害時の安全性を確保し、空港跡地との連続性のあるまちなみを整備するため、当該道路の無電柱化を実施します。

当該道路は歩道部分が狭いことから、道路の無電柱化が難しい状況にあります。そのため、27年度に電柱・電線を撤去する方式を検討、28年度に共同溝や管路の配置に関する検討を行い、29年度はこれらの成果を生かし、関係部局等と調整してきました。

30年度は「(仮称)大田区羽田一丁目複合施設」の進捗に合わせて、施設付近の前面道路で電線共同溝の整備工事を一部先行着手します。



産業道路付近



弁天橋付近

問合せ先	担当部課	上記 1、2	都市基盤整備部	建設工事課
		上記 1 (2)	都市基盤整備部	都市基盤管理課
	課長	上記 1、2	榊原	電話 6436-8720
		上記 1 (2)	谷田川	電話 5744-1722 (都市基盤計画調整担当)
	担当者	上記 1、2	戸邊	電話 6436-8728 (建設工事課)
		上記 1 (2)	和田	電話 5744-1315 (都市基盤管理課)

都市計画道路の整備

実計

予算額 18億1,002万5千円

副題：快適な交通ネットワークをつくります

ポイント

大田区施行で事業中の都市計画道路について、用地買収・設計・工事等を着実に実施し、安全で安心なまちと円滑に移動できる都市の実現に向けて事業を推進します。
また、大田区画街路第1号線は、東急目黒線の蓋掛工事が完了し早期完成が求められています。「人と緑と文化の調和するまち・大岡山」を目指し、区民の日常生活を支える道路の早期完成を目指します。

事業概要

区が整備中の都市計画道路は、日常生活に密接な関わりをもつ道路です。現在、都市計画道路の未整備区間の地域では、住宅地に車が流入し、住環境の安全性や快適性が損なわれるなど大きな社会問題となっています。

そのため、自動車の円滑な通行、歩行者の安全面や福祉、環境面への配慮など、効率性と安全性、快適性を重視する都市計画道路の整備を行っていきます。

また、災害時における緊急避難路としての活用も考慮し、道路の無電柱化も併せて実施します。

1 補助線街路第38号線

路線北側(東糀谷地区)の早期完成を目指し、西側歩道の電線共同溝整備を実施します。また、引き続き事業用地の取得を推進します。

2 補助線街路第43号線

(公財)東京都道路整備保全公社と用地補償総合技術業務委託の協定を締結し、事業用地の取得を推進します。

3 補助線街路第44号線

平成27年度完成区間に隣接する箇所において、4期事業として電線共同溝整備に着手します。

事業認可取得を目指す環状七号線取付部においては、関係機関と協議しながら設計の深度化を図ります。



補助線街路第 44 号線 4 期事業箇所

4 大田区画街路第 1 号線

大岡山駅と環状七号線を結ぶ大田区画街路第 1 号線において、29年度は南側の道路線形を完成形にするための街路部整備工事を実施しました。併せて、北側区道部の電線共同溝工事にも着手しました。30年度は、事業の早期完成に向け、事業用地の取得を進めつつ、引き続き南北道路の電線共同溝整備を実施するとともに、遊歩道の整備に着手します。



大田区画街路第 1 号線 工事中箇所(平成29年12月撮影)

問合せ先	担当部課	都市基盤整備部	建設工事課
	課長	榊原	電話 6436-8720
	担当者	藤木・戸邊	電話 6436-8728

空家の活用に関する研究及び調査

新規

実計

予算額 366万8千円

副題：空家の活用方法の研究と所有者の意向調査を実施します

ポイント

空家を公益的活動と結び付ける「空家等地域貢献活用事業」を促進するため、空家の活用方法の研究と、所有者の意向調査を実施します。

区内におよそ5,400戸あると推定される流通過程に無い空家のうち、良質な空家の有効活用に取り組みます。

事業概要

1 都内初「空家活用事業研究施設」の運営

278万8千円

区が取得した空家を、空家の活用方法等を研究する都内初の「空家活用事業研究施設」として運営します。空家活用のモデルケースとして、この施設で様々な団体に活動してもらい、その活動ごとに適性や課題、地域へもたらす効果について大学と提携して研究し、空家の活用方法を探ります。



区はこれまでに、空家等地域貢献活用事業の登録要件の緩和や、空家改修費への補助などで、空家利活用の促進を図ってきました。本施設の研究成果を活かすことで、空家利活用を更に推進します。

2 空家所有者の意向調査

87万8千円

空家活用の意向や、空家活用に至らない要因等を空家所有者に調査し、結果を空家等地域貢献活用事業に活かします。調査はアンケート用紙のポスティングによって行い、併せて事業のチラシを配付することで、区内、区外の空家所有者に直接区の取り組む空家活用事業をPRし、空家の活用を促進します。

問合せ先	担当部課	まちづくり推進部 建築調整課	
	課長	榎田	電話 5744-1342
	担当者	竹田	電話 5744-1343

呑川高濃度酸素水浄化施設設置及び施設運転

実計	重点	予算額 5億4,020万2千円
----	----	-----------------

副題：環境・景観の向上のため、呑川の水質改善を推進します

ポイント

呑川では、JR蒲田駅から日蓮橋付近の中流域において、春先から夏にかけて発生する悪臭や白濁化、スカム等の発生による環境や景観の悪化が問題となっています。このような呑川の水質を改善するため、平成29年度に引き続き、高濃度酸素水浄化施設の設置工事を行い、30年度中に一部施設による浄化運転を開始する予定です。

事業概要

呑川の水質は、表層のBOD（生物化学的酸素要求量）などは環境基準を概ね満たしています。しかし、DO（溶存酸素量）は、中流域（JR蒲田駅から日蓮橋付近）の底層において基準を満たしておらず、特に夏場はスカムや悪臭が発生する回数が多くなり、より一層の水質改善に取り組む必要があります。

東京都と流域自治体で構成される「呑川水質浄化対策研究会」において、総合的な水質浄化対策の方向性を定め、各種水質浄化対策を進めているところです。

その対策の一つとして、呑川の底層の貧酸素状態を改善するため、西蒲田五丁目児童遊園跡地（西蒲田五丁目1番1号先）及びその周辺において高濃度酸素水浄化施設の設置工事に着手しています。29年度に引き続き施設の設置工事を行い、30年度中に一部施設による浄化運転を開始する予定です。



〔全体計画図〕

問合先	担当部課	都市基盤整備部 建設工事課	
	課長	鈴木	電話 6436-8721
	担当者	田山	電話 6436-8727

マイナンバーカードセンターの設置について

新規

予算額 5,676万5千円

副題：全国初！JR大森駅近に本庁舎と

同様のサービスが提供できるセンターが誕生します

ポイント

本庁舎と同様のサービスを提供するマイナンバーカードセンターを設置します。
センターではカードの新規交付、申請補助、相談をはじめ、広報活動、マイナポータル閲覧などの業務を取り扱います。

事業概要	
開設	平成30年7月2日（予定）
開設場所	大森まちづくり推進施設1階（山王2丁目3番7号） JR大森駅から徒歩1分
開設時間	平日 8時30分～19時 土日（第三週目除く） 9時～17時 年未年始、システムメンテナンス日を除く
施設概要	本庁舎と同様に、マイナンバーカードの 交付及び普及啓発を行う全国初の 推進拠点としてサービスを提供し、 区民の利便性を一層高めていきます。
問合先	担当部課 区民部 戸籍住民課
	課長 杉村 電話 5744 - 1181
	担当者 後藤 電話 5744 - 1182

